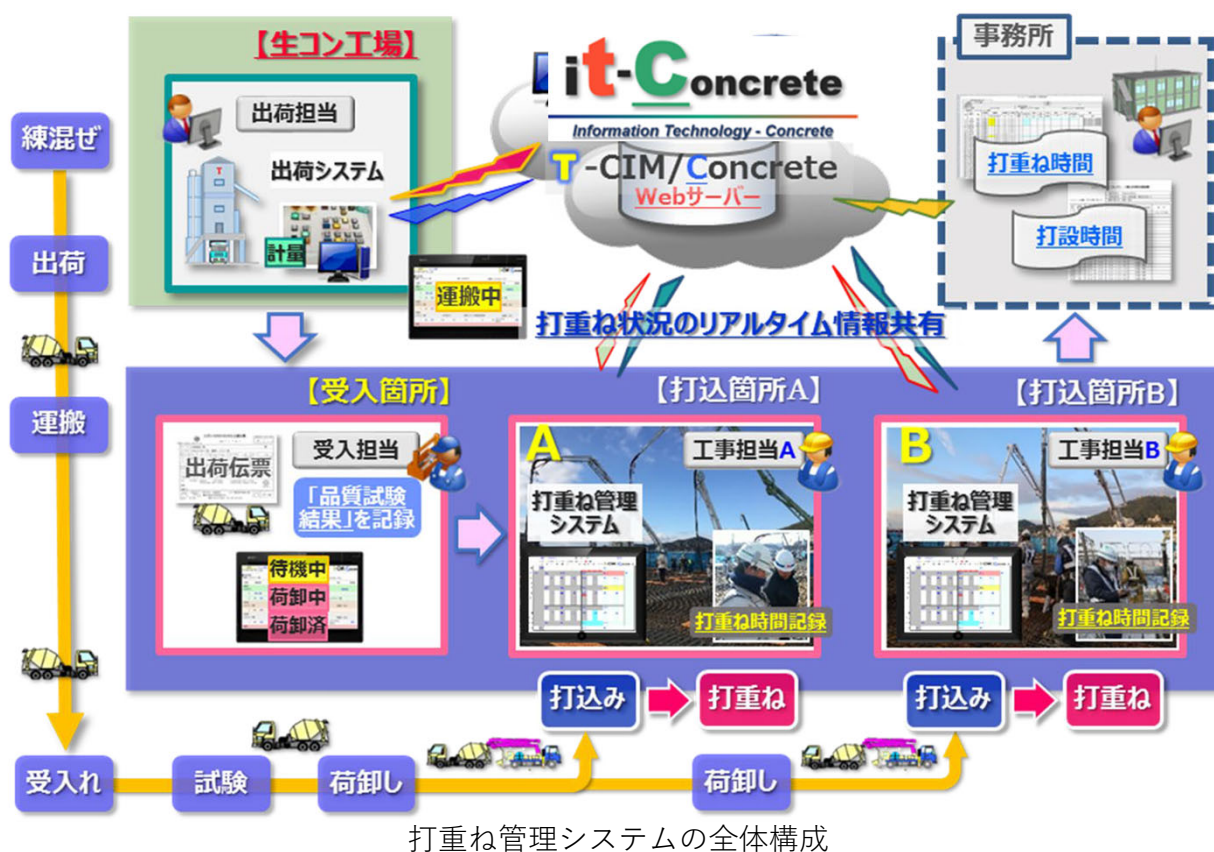


it-Concrete 標準オプション 打重ね管理機能

it-Concreteで取得した生コン情報を活用し、打重ね管理を効率化

重要構造物のコンクリートの品質向上には、生コンを連続かつ均一に打込み、一体化するために打重ね管理が重要です。上層と下層の打重ね部にコールドジョイントが発生し、構造物の弱点になるリスクがあります。これを防ぐため土木学会のコンクリート標準示方書では、コンクリートの許容打重ね時間の標準が示されています。これまで、多くの現場は、計画した打込手順と打設時間の表が記載されている計画書を現場に持っていき時計を見ながら、野帳に手書きで記録をしていました。この作業のデジタル化により、「見える化」と「記録作成の省力化」を図ります。本オプション機能の費用はit-Concrete本体の利用料に含まれています。

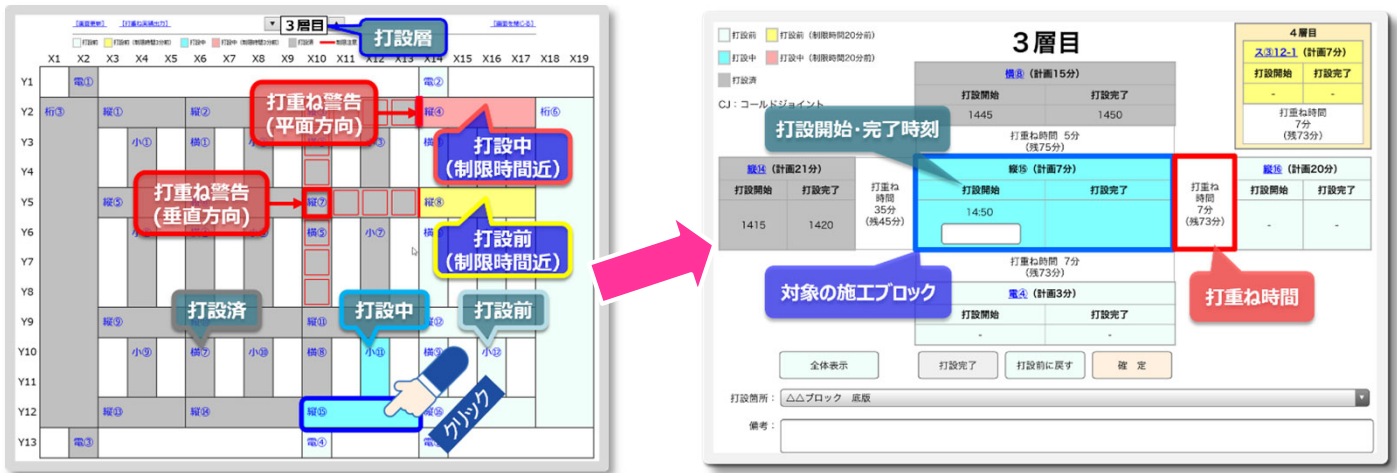


本機能の導入メリット

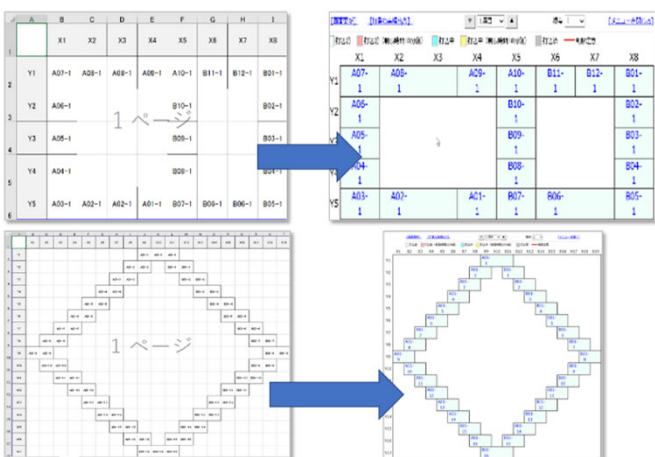
- コンクリートの打重ね管理の計画と実施状況がインターネットで見える化できます。
- 打重ね時間が自動で計算されるため、規定値の超過する箇所を視覚的に把握可能です。
- 打重ね管理の部材ごとに生コン車情報が記録されているので、トレーサビリティの確保が可能です。
- 今まで曖昧だった打重ね時間の記録が一元的に管理され、将来の維持管理で活用可能となります。

技術の特徴

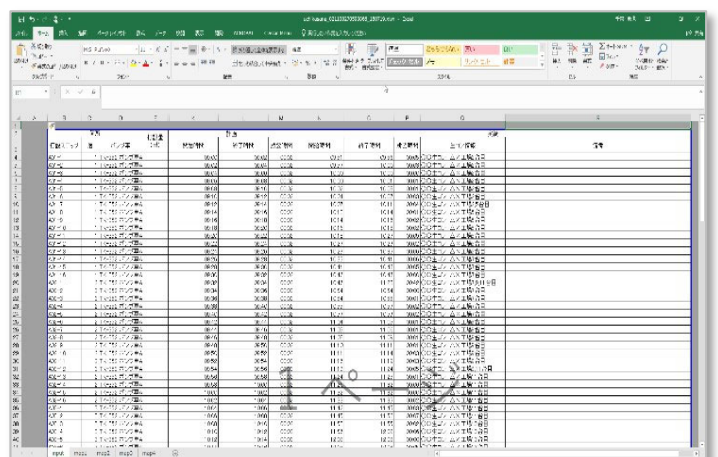
- インターネットにつながるタブレット端末で打設記録の入力及び閲覧が可能です。また、施工手順が施工中に変更になった場合でも対応できます。
- 打重ね時間が超過しそうな打設箇所には、応急処置として生コンを継ぎ足して、コールドジョイントの発生を抑えることがあります。この対処についても記録が可能です。
- 打重ね時間制限について現場の定めた時間で、警報メールは発信できます。
- 梁スラブ構造、円形構造などの複雑な構造の場合でも基本ブロックを細分化することにより汎用的にモデル化が可能です。3次元CADデータを前提にせずExcelファイルにより簡略打重ねマップを作成できます。
- 打重ね時間記録は、打重ね計画表に追記した表を出力できます。



打重ね管理システム表示画面【全体表示 (左)、詳細表示 (右)】



構造ごとの打重ね管理の例



出力帳票

問い合わせ先

- 販売代理店
 - 日建リース工業 (株) 03-3295-9157
 - 日建片桐リース (株) 011-251-6777
 - タイトレック (株) 092-525-9757

- 販売元
 - 成和コンサルタント(株)
 - <https://www.seiwac.co.jp/>
 - it-concrete@seiwac.jp